

京都大学教育研究振興財団助成事業
成果報告書

2023年 11月 21日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団
会長 藤 洋作 様

所属部局・研究科 医学研究科・医学専攻

職名・学年 博士課程 4回生

氏 名 近藤 知大

| | | | | |
|------------|--|-----------|---------|--|
| 助成の種類 | 令和5年度・国際研究集会発表助成 | | | |
| 研究集会名 | ESMO Congress (欧州臨床腫瘍学会年次総会) | | | |
| 発表形式 | <input type="checkbox"/> 招待 ・ <input type="checkbox"/> 口頭 ・ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター ・ <input type="checkbox"/> その他() | | | |
| 発表題目 | Prevalence of druggable EGFR genomic alterations in solid tumours other than lung cancer | | | |
| 開催場所 | スペイン・マドリード | | | |
| 渡航期間 | 2023年 10月 18日 ~ 2023年 10月 29日 | | | |
| 成果の概要 | タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版1枚程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有() | | | |
| 会計報告 | 交付を受けた助成金額 | 350,000 円 | | |
| | 使用した助成金額 | 350,000 円 | | |
| | 返納すべき助成金額 | 0 円 | | |
| | 助成金の使途内訳 (差し支えなければ要した 経費総額をご記入ください) | 費 目 | 金 額 (円) | |
| | | 航空運賃 | 295,234 | |
| | | 宿泊費 | | |
| | | 滞在費 | 32,393 | |
| 学会参加費 | | | | |
| その他 | 22,373 | | | |
| 以上に助成金を充当 | | | | |
| 当財団の助成について | (今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) 財団の事務ご担当者様には、こちらの質問等に関しまして、丁寧に対応いただきました。ありがとうございました。 | | | |

2023年11月21日

成果の概要/近藤 知大

2023年10月、スペイン・マドリードで開催された欧州臨床腫瘍学会年次総会（ESMO Congress）に参加いたしました。この総会は、臨床腫瘍学分野における国際的に重要な研究集会の一つであり、最新の研究成果を学ぶ貴重な機会となりました。

私は、ポスター演題「Prevalence of druggable EGFR genomic alterations in solid tumours other than lung cancer」というテーマで発表を行いました。肺がん以外の固形がんにおけるEGFR活性化変異は稀ですが、EGFR阻害剤の有効性に関する報告されています。当初、この稀な変異についての発表に聴衆の関心が集まるか不安でしたが、米国メモリアルスローンケタリングがんセンターの研究者から熱心な質問を受け、他の発表でもEGFR活性化変異を有する固形がんにおけるEGFR阻害薬の効果に関する報告があり、本研究テーマの臨床的重要性を再認識しました。

さらに、Young oncologistを対象とした「Mentorship Session: Your Choice of Career Path in Oncology」というセッションに参加し、「How to build your own lab and research group in academia」というテーマでのディスカッションに参加しました。このセッションでは、欧州を中心とする様々な地域のYoung oncologistと交流し、地域ごとの課題を学ぶことができました。

また、総会への参加より、国内外の多くの研究者や医師との重要なネットワークを構築することができました。ESMO Congress参加を通じて、国内外の多くの研究者や臨床医とのネットワークを構築することができました。特に、総会期間中には日本からの参加者とも交流を深める機会があり、貴重な知見を共有することができました。さらに、ESMO Congress参加後には、ESMOと日本癌治療学会の協力のもと、スペイン・バルセロナのVall d'Hebron Institute of Oncologyを訪問し、ESMOの前会長Josep Tabernero先生、膵臓がん・胆道がんの新規治療法開発の世界的リーダーであるTeresa Macarulla先生、Preclinical translational groupのリーダーであるTian Tian先生と議論を行いました。この経験は、私にとって非常に貴重なものとなりました。

今回、貴財団からの温かい支援を賜り、このような国際的な会議に参加し、学び、交流する機会を得ることができましたことを心より感謝申し上げます。また、貴財団の一層のご発展を心よりお祈り申し上げます。